

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和元年9月30日 第7号(19-18)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

9/2(月)始業式校長式辞

『夢や志のパワー』の話

～二学期を充実した四ヶ月にしよう～

今日から二学期です。皆さんの表情を見ると、久しぶりのクラスの仲間との再会の喜びと新鮮な空気を感じます。二学期はビッグイベントの音楽発表会が控えています。こうした学校行事は、何よりゴールに向かって、どんな準備をしていくかが大切です。大きな感動を伴い、皆さんの絆を育みながら、成長を加速する貴重な体験にしましょう。並行して、3年生は修学旅行、進路の正念場に臨みます。集中と息抜きを上手く切り替えて、心と身体の健康を維持しましょう。受験は、個が努力する個人戦の要素と、学級・学年でやる気を高め合う団体戦の要素があります。独りで立ち向かわず、仲間と励まし合う二学期にしてください。2年生は大宮中の中心的な存在を期待されています。1年生にも模範を示す立場です。授業を中心とした学習の取り組み、生徒会活動、部活動などでリーダーシップの発揮は、皆さんならできます。1年生は、夏休みを経て小学生の面影がすっかりなくなり、身体が一回り大きくなっています。^{ハート}心はどうですか？周囲の人と協力して、成長の秋にしてください。



さて、皆さんの夏休みは、今日提出の DO ノートで見せてもらいます。充実の足跡をたどるのが楽しみです。私はお盆期間に『風をつかまえた少年』を観てきました。期待を裏切らない映画でした。カムクワンバ少年が、カラカラに干上がった畑に、井戸水をくみ上げるため、どうやって風力発電機を完成できたのか伝わりました。そこにはカムクワンバ少年の科学への好奇心、探究心を支える、村の人々の協力があったのです。一緒にゴミ捨て場で風車の材料を探してくれた友達、貴重な自転車のダイナモ（発電機）を、手に入れてくれた姉の想い。最後まで少年の風車づくりを理解せず猛反対していた父親が、息子を信じる母親の説得で、自分の大事な自転車をまるごと風車の材料として提供します。少年の夢がリアルな形になっていく過程で、夢のパワーが人を動かす様子に涙がこぼれました。夏休みの宿題の DO ノートの表紙『ドリームカバー』は、皆さんの夢や志、目標が表現されていると思います。周りの人に良い影響を与えるパワーのある表紙がたくさんあると良いなと、ワクワクしています

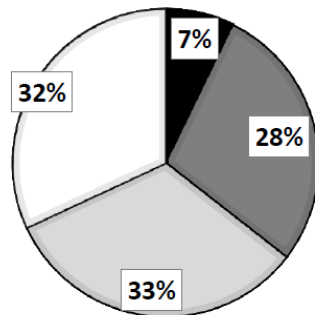


特集 DO ノート活用アンケート結果と考察

今年度4月から大宮中で導入したDOノート（市販名フォーサイト手帳）について、一学期末に生徒アンケートをとりました。その集計結果をご報告します。おちゅう甲子園は審査中です。

1、時間を意識するようになりましたか

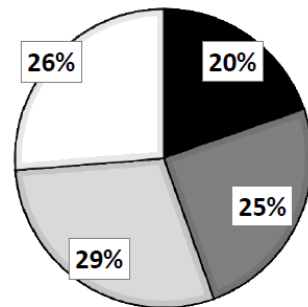
68%の生徒が時間を意識するようになっています。



DO ノートを一日3回以上開くと、効果が上がるようです。「3回」が突破点のようです。

2、計画を立てることを意識するようになりましたか

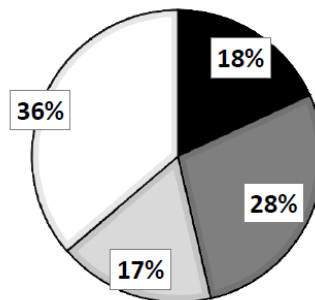
73%の生徒が計画を立てることを意識するようになっています。



70%程度の大宮中生が、時間、目標、計画立案への意識が高くなっています。

3、忘れ物が減りましたか

64%の生徒が忘れ物が減ったと答えています。

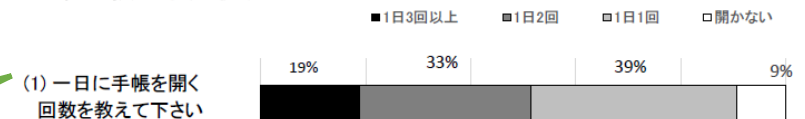


10月からの後半半年で、大宮中生の意識が変わり、行動が変わることを期待しています。

フォーサイト手帳効果見える化レポート

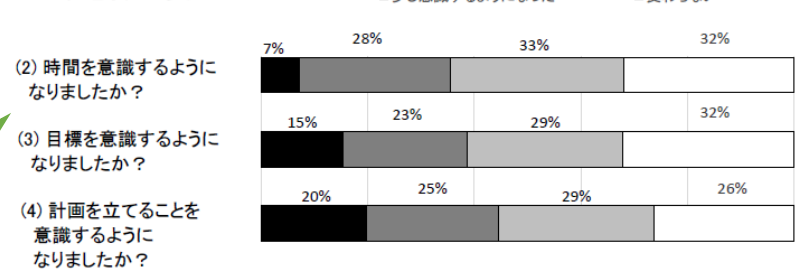
全体②

A、手帳の活用状況

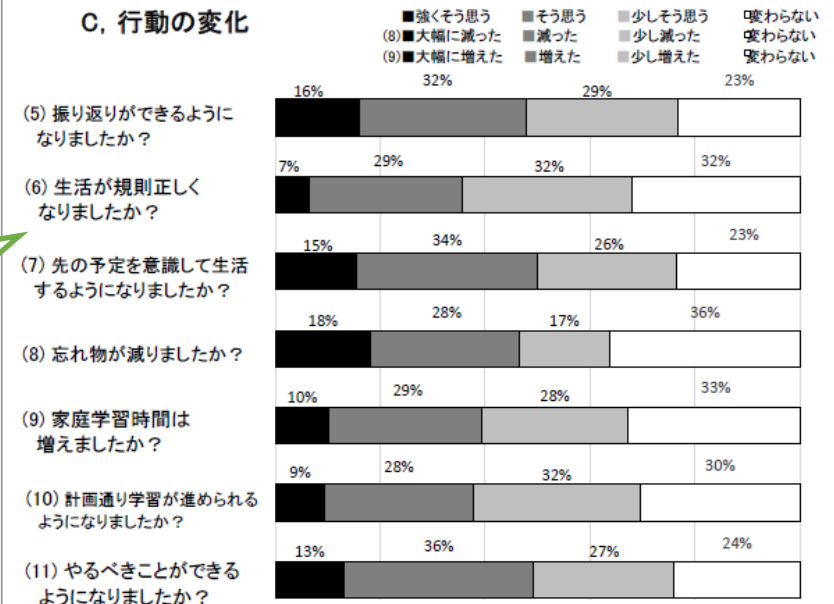


(1) 一日に手帳を開く回数を教えてください

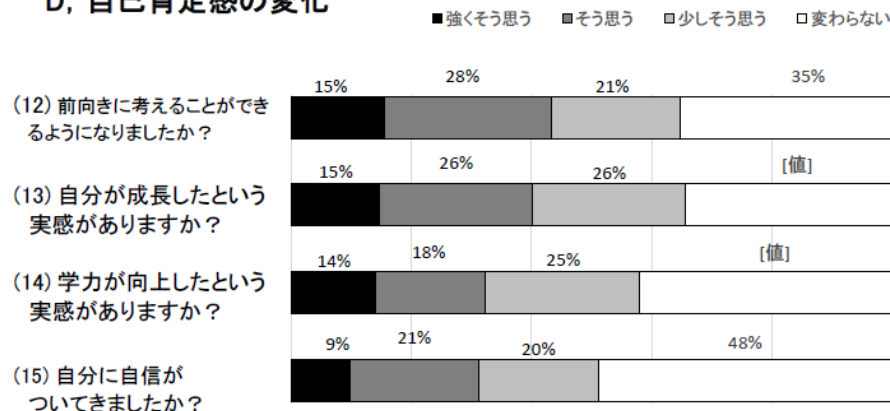
B、意識の変化



C、行動の変化



D. 自己肯定感の変化



E. その他の変化

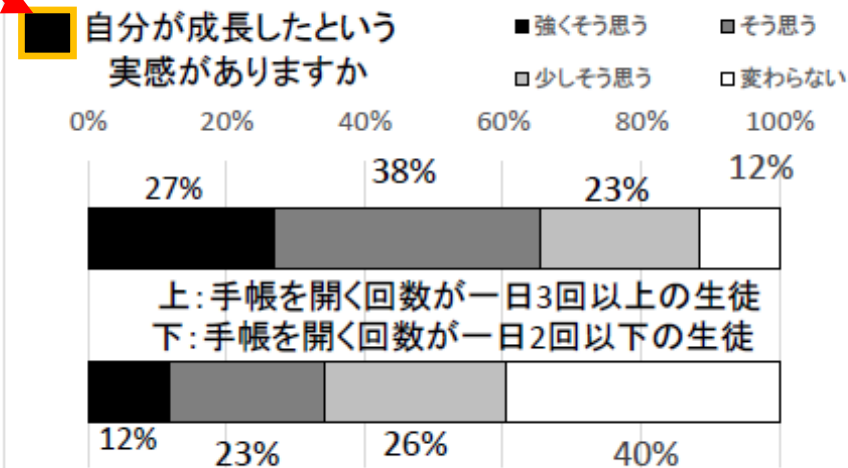
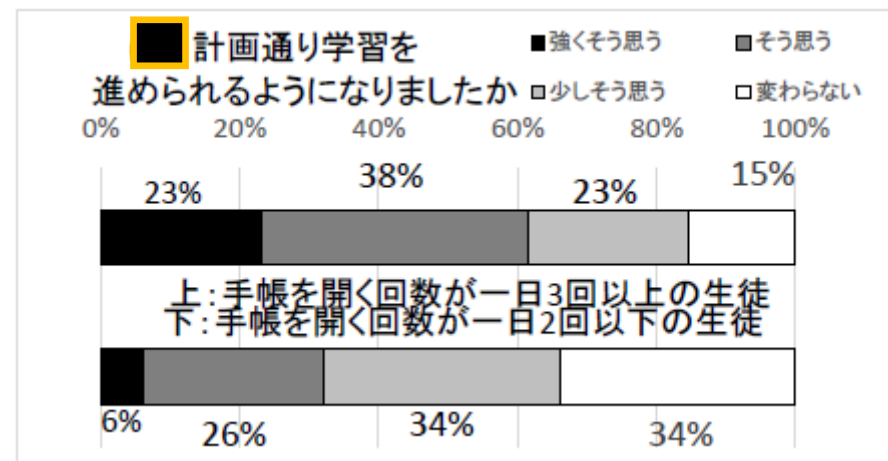


物事を前向きに発想でき、自分に自信がついた生徒が増えていると読み取れます。まめにメモを取ったり、テスト勉強を計画的に取り組んだりすることができるようになったと考える生徒が増えています。

最後の棒グラフは、上が一日3回以上開く生徒と、2回以下の生徒に、4月からの気持ちの変化の違いが表れているのがわかります。冒頭記したように、各学年・学級で、毎日3回以上開いてメモする習慣をつけることが、大宮中生の今後の飛躍の助けになりそうです。今後一人でも多くの生徒が、DO ノートの活用を図って欲しいと願っています。

『大宮中生よ、一日3回 DO ノートの出番です！』

細かく分析するようになると違いが！



9/9(月)朝会校長講話

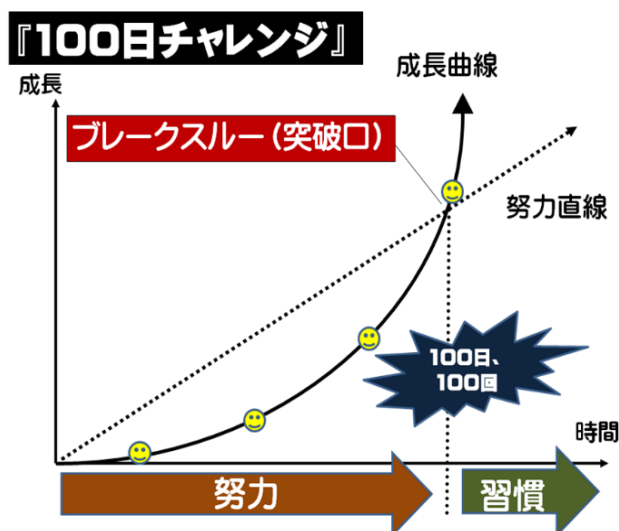
『二学期は100日チャレンジ!』の話

～年明けの自分の姿にワクワクする力～

二学期、二週目。今日は9月9日ですね。二学期の終業式まで数えると109日です。皆さんは『まだ』、始まりの新鮮な空気の中にいますね。100日ちょっとを、漠然と過ごしても冬休みは来ます。自分の目標にチャレンジの毎日にも冬休みは来ます。ならば、100日後の自分の姿にワクワクしてみませんか？

なぜ、100日か？私たちは、何か目標を立てて取り組み始めたとき、こんなことが起こります。グラフを見てください。

努力は直線で、成長は曲線です。曲線はうんと拡大すると階段状になっています。初期の段階では、なかなか上向きません。最初はやってもやっても成果が出ない。そこで諦めるのが『三日坊主』。でも何かを100日、100回継続すれば、『ブレークスルー、いわゆる突破口』が生まれます。例えば、リフティング。100回クリアが目標です。最初はできません。毎日やっても3、4回止まり。ところが努力していると、急に10回できる日に来る。更に30回、50回、100回、テクニックも飛躍的に向上します。皆さんも何かに挑戦して突破口を開いた経験はありませんか？



私は、二学期の100日ちょっとという長さは、具体的な目標に対して成果を出そうとした時に、長すぎない、かといって短すぎない、ちょうど良い時間ではないかと思います。ぜひ、『大宮中 100 日チャレンジ』に挑戦しましょう！学習や部活動、習い事など上達したいことを、具体的な目標を掲げて DO ノートに書きましょう。目標は、ただ願えば叶うというのは、おとぎ話です。なぜ書くのか？皆さん初詣に行くと絵馬を見るでしょう？何が書いてあるか読んだこともありますね？「〇〇合格！」

「〇〇ちゃん（君）と結婚！」「〇〇の健康祈願！」等々。私は、絵馬のご利益は、頭で願っているだけよりも、実際に書いてみたほうが、自分の決意が高まり、やることの整理ができる所に最大の効果があるのではないかと思います。ですから、目標を実現するための具体的な行動、やるべき事も決めて、努力、努力です。その結果を DO ノートに記して振り返りましょう。学習面なら、来週の間中間考査、期末考査と続きます。3年生は会場テストもあるでしょう。1, 2年生は資格検定も。

100日続けるのは苦しい努力だと思いますか？イチロー選手は毎日野球のトレーニングを努力したのか？実は彼は努力をしていません。イチロー選手は、100日、200日、1年…と努力を続けるうちに、努力が当たり前の毎日の習慣に変わったのです。皆さんも『大宮中 100 日チャレンジ』で、努力が習慣に変わる日々を体験しましょう。先生方も皆さんを応援しています。😊